

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		ドリームズ・21st 津セノパーク校			公表日		2026年 2月 13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・利用人数が多い時はせまく感じることもある。 ・学習と遊ぶスペースを分けて活動できている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	・朝礼時に職員の配置について確認を行っている。 ・定員数の調整ができています。	・日によって職員の代休や有休がある日は人員が足りてない。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・特に階段の上り下りに不安を感じるお子様は付き添いと声かけを行っている。タイムタイマーやスケジュールを張り出している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・毎日、清掃の時間を設けている。 ・月に一度程度、エアコンや送迎車内の清掃を行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・クールダウンができるように別室・パーソナルスペースを設置している。 ・状況に応じて個別の対応ができるスペースがある。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	・朝礼時に振り返りを行い、改善案をあげる時間がある。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・懇談会などで保護者の意向を把握し、できる限り改善につなげている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・朝礼や校舎ミーティングで意見交換を行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		・改善につなげるところまではできていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	・研修に参加して支援の向上につなげている。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2		・期限内に計画書の更新ができていない時がある。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・懇談会や日々の活動の中でアセスメント・課題の把握ができています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	・職員間での共通理解はできています。	・日々の業務が忙しく支援計画については児童発達支援管理責任者に任せる傾向がある。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2		・計画書の共有ができていない。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・確認する際にアセスメントシートを使用したり、パートの方の意見を聞くなど工夫している。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・ガイドラインに沿って、支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・職員間で話し合いながら、決定・改善することができている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・子どもたちの様子を見ながら、日々内容を見直し対応している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	・個別・集団活動のどちらにも対応できるように計画書が書かれている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝礼を行っている。 ・情報共有のシートも活用している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		・長期休みの際は共有事項の確認がしづらい状況にある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・記録者の固定化がないように全員で分担して記録している。 ・記入担当を決め、様子を後日でも確認できるようになっている。 ・環境が変わった際など、定期的にモニタリングを実施している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		・様々な活動を考え、支援に取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	・こどもの自己選択や自己決定の力を育てるための支援は足りないと考えている。イベントのアンケートや計画を生徒にってもらう取り組みがある。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・出来る限り複数の職員で会議に出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・会議の出席を通して情報を共有している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・送迎の際に体調や学習の様子など、情報の共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	・相談員より情報をいただいている。 ・未就学児との関係は薄いと感じる。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		・情報を提供する機会が定まっていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4	・支援センターとの連絡が取れている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	・長期休みには他校舎の生徒と活動する機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		・積極的に参加できていないので、参加の機会を増やしていく。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・LINEや送迎時に状況をお伝えしている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6		・こちらから情報提供はできていない。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約の際に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・懇談会や電話、送迎時にお聞きしている。 ・都度、意向を確認しながら取り組み事項を決定している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1		・内容の説明を口頭で行うことができていない。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・LINEや電話でも相談を受けつけている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	・保護者同士で交流する機会をつくることはできていない。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情の内容を共有し、改善策を考えることができています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	2	・LINEを使ってイベントの案内や日々の様子をお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	2		・個人情報のファイルを入れるロッカーは鍵をかけた方が安全である。 ・職員の机上にファイルが置かれたままになっていることがある。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・掲示物で見ても分かりやすくしたり、タイマーを使用して聴覚でも知らせている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		・地域住民との交流はできていないので、イベントなどを通じて、機会を作れるようにしていく。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・マニュアルの策定や訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	・マニュアルの策定や訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・契約時のアセスメントシート・聞き取りで確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・おやつを提供する際に確認・除去などの対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		・安全計画は作成されてあるが職員全員が十分な研修や訓練されたと考えられない。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		・周知はできていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・朝礼時に共有する時間を設けている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・毎年、校舎から1～2名が研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	・身体拘束が必要な場合は、計画書に記載する等、手順の把握ができています。		